

## 【別紙様式 3】

## 再評価実施事業調書

番号		事業名	住宅市街地基盤整備事業	路線又は箇所名等	(二)栗山川水系栗山川																		
事業所管課		河川環境課		事業主体		千葉県																	
事業化年度	平成 3 年度	用地着手年度	平成 3 年度	工事着手年度	平成 3 年度	再評価の理由																	
				工事終了(認可)年度	平成 19 年度																		
費用便益比 B / C	1.27	総費用	138.42 億円	総便益	176.27 億円	基準年	平成 17 年度																
<b>【事業概要】</b> 栗山川流域では、近年市街化の発展及び河口 3.0k ~ 8.0k 付近の未改修区間の影響で未改修区間沿川、本川上流域及び支川流域で浸水被害多発し、治水安全度が低下している。 上流の開発に伴う流出増に対応するため、狭窄区間の河道整備とその付帯工事を行い、周辺開発と整合を図った良好な社会基盤の整備に資するため河川整備を行う。  事業計画区間長 2,120m (築堤 2,120m 掘削 310,000m <sup>3</sup> 橋梁 3 橋 樋管 11 基 堰 1 基)																							
<b>【事業の進捗状況】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体計画 (億円)</th> <th>投資事業費 (億円)</th> <th>進捗率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>169.15</td> <td>150.51</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>59.91</td> <td>43.58</td> <td>72.7</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>109.24</td> <td>106.93</td> <td>97.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成 16 年度末の進捗率は 89% であり、平成 19 年度で事業終了の予定である。</p>									全体計画 (億円)	投資事業費 (億円)	進捗率 (%)	全体	169.15	150.51	89.0	工事	59.91	43.58	72.7	用地	109.24	106.93	97.9
	全体計画 (億円)	投資事業費 (億円)	進捗率 (%)																				
全体	169.15	150.51	89.0																				
工事	59.91	43.58	72.7																				
用地	109.24	106.93	97.9																				
<b>【社会経済情勢等】</b> 流域状況 栗山川は、指定区間延長 33.7km、流域面積 284.5km <sup>2</sup> の二級河川である。栗山川は、房総導水路および両総用水を兼用しており、利根川から取水された水は栗山川を通じて流域を含む九十九里地域や房総地域へ農業、都市用水として供給、送水されている。 流域の低地部には水田が広がり、市街地は JR 総武本線沿川に広がっている。現在、市街化の進展や圏央道建設に伴う開発促進によって流出量の増大が懸念されており、これらに対応するため河道改修が鋭意進められている。 近年、河道改修の効果により洪水時の浸水被害が減少傾向にあるものの、水田や低い土地にある家屋の浸水や幹線道路の湛水等の被害は発生しており、さらに流下能力が不足している区間の治水安全度の向上が望まれている。  主な水害状況 ・平成 11 年 10 月(大雨) 浸水戸数 172 戸 浸水面積 1,950ha ・平成 16 年 10 月(台風 22 号) 浸水戸数 26 戸 浸水面積 1,955ha  投資効果 ・浸水戸数 172 戸 ・浸水面積 1,570ha  関連事業 ・広域河川改修(基幹)事業																							
<b>【対応方針(案)】</b> <u>継続</u> 栗山川の改修により、開発の進展が見込まれる流域において概ね 10 年に 1 度発生する規模の洪水に対する治水安全度の向上が図られる。 また、発生材の再利用、堰の設計見直し等によるコスト縮減へも取り組んでおり、事業の投資効果も高く、事業の進捗率も高いことから、事業を継続とし平成 19 年度の事業終了に努める。																							

注：費用便益比は、河川整備計画(案)に定める河川工事(広域基幹河川改修事業の一部、住宅宅地関連公共施設等総合整備事業、鉄道橋緊急対策事業)による総費用と総便益より算出した。

事業概要図

番号	1	事業名	住宅市街地基盤整備事業	路線又は箇所名等	二級河川南栗山川水系 栗山川
----	---	-----	-------------	----------	-------------------

位置図



代表断面図

栗山川



